

「アジア諸国の医療皆保険の効率性」に関するセミナー

アジア開発銀行研究所（ADB），インドネシア財務省の共催で，昨年の「開発途上のアジアにおける政府社会保障プログラムの効果」に関するセミナーに引き続き，2018年3月20日から22日まで，インドネシア・ジョグジャカルタにて「アジア諸国の医療皆保険の効率性」と題するセミナーが開催された。東アジア・ASEAN 諸国，オーストラリアの医療保険を担当する省庁や大学，WHO からの参加があった。また，会議後には近郊の公立病院を見学した。

SDGs に UHC（Universal Health Coverage）が明確に位置付けられていることもあり，近年 ASEAN 各国で医療保険制度が急速に普及してきているようである。ラオスでは公的医療保険カバー率が2016年の11%から2017年には71%となり，フィリピンでは PhilHealth を通じ給付額は急速に増加，インドネシアでは政府の補助金が増額され，さらに，JKN と呼ばれる公的医療保険はすでに1.93億人をカバーしているとのことである。一方，中間所得層のカバー率が低いといった新たな問題が生じていること，マレーシアでは，欧米や日本・香港と比べ，30歳時，60歳時の平均余命の伸びが弱いことも報告された。（林 玲子 記）

2018年日本地理学会春季学術大会

2018年日本地理学会春季学術大会は，東京学芸大学（東京都小金井市）を大会会場として，3月21日（水）から3月24日（土）まで開催された（3月24日（土）は巡検，公開講座）。「人口」の報告群では，下記の3つの研究が報告された。また，筆者が地理的分布の分析方法について発表した「移動・移民」や，「海外地域研究」その他の報告群などでも，国内・国際人口移動の研究や人口に関連する内容の報告があり，有意義な知見を得ることができた。

1. 秋山祐樹・秋山千亜紀「建物マイクロジオデータを用いた全国の孤立住宅の分布把握」
2. 鈴木允「大正・昭和初期における山村地域からの出寄留増加の実態—愛知県東加茂郡賀茂村『寄留届綴』の分析から」
3. 小池司朗「地方都市における人口移動傾向の変化—「新潟県人口移動調査」を用いた1980～2015年の分析」

（清水昌人 記）

日本人口学会2017年度第2回東日本地域部会

日本人口学会2017年度第2回東日本地域部会は，2018年3月24日（土）に国立社会保障・人口問題研究所第4・5会議室にて開催された。今回は「少子化とセクシュアリティ」と題した企画セッションが行われ，林玲子会員が組織者・座長を務めて以下の通り7本の報告と討論者からのコメントがなされた。（うち，岩本・吉永・北村各氏は非会員）

1. 「日本における性行動をめぐる変化：出生動向基本調査の結果から」
.....守泉理恵（国立社会保障・人口問題研究所）